

# タルコフスキー、

# 精神・物質・官能

サクリファイス  
Offret

ローラー・バイオリン  
Каток и скрипка

僕の村は戦場だった  
Иваново детство

アンドレイ・ルブリョフ  
Андрей Рублёв

惑星ソラリス  
Соларис

鏡  
Зеркало

ストーカー  
Сталкер



淀んだ水の流れ

草木をなびかせる風

宇宙船にすら充滿する

ひとの生活の息吹――

物質の肌理に

にじみでる官能

それこそが

タルコフスキーの

〈精神性〉の核心なのだ





## アンドレイ・タルコフスキー

Андрей Арсеньевич Тарковский



1932年4月4日～1986年12月29日

長編監督作は7本と寡作だが、水、雨、光など自然を駆使した抒情的な作風により映像の詩人と呼ばれ、世界中に映画ファンを獲得し、この作品も長く見られ続けている傑作揃いである。ソ連からフランスに亡命して僅か2年後の1986年、54才で肺ガンによりバリで客死。

上映作品

## サクリファイス

Offret



1986年 | カラー | ヴィスタ

スウェーデン・仏・英共同製作 | 149分

1986年カンヌ国際映画祭審査員特別賞/最優秀芸術貢献賞/国際映画批評家連盟賞/エキメニク賞

タルコフスキーの遺作。誕生日に木を植えるのを習慣にしているアレクサンデルは、枯木に水をやり続けて、遂に蘇らせた僧の伝説を話す。同じ日、核戦争が勃発…。抑制されたセリフ、美しい自然の中で展開する物語は人々の心を打ち、カンヌで絶賛され史上初の四冠に輝いた。

## ローラーとバイオリン

Каток и скрипка



1960年 | カラー | スタンダード | 46分

1961年ニューヨーク国際学生映画コンクール第一位

バイオリンが得意な少年サーシャは、近所の少年たちにいじめられているところを、労働者のセルゲイに助けられたのをきっかけに友だちになる。しかしサーシャの母親はそれを快く思っていなかった。アルペール・ラモリスの『赤い風船』に刺激された作品ごのこである。

## 僕の村は戦場だった

Иваново детство



1962年 | モノクロ | スタンダード | 94分

1962年ヴェネツィア国際映画祭サン・マルコ金獅子賞

1962年サンフランシスコ国際映画祭監督賞

舞台は第二次世界大戦下のソビエト。両親と妹をドイツ軍に殺され独りぼっちになり、復讐心に燃える12才の少年イワンは、バルチザンに協力し、危険をおかして敵の占領地域への偵察活動に従事するが…。戦争の悲惨さと虚しさの浮かび上がる傑作である。 **デジタル・リマスター版**

## アンドレイ・ルブリョフ

Андрей Рублёв



1967年 | モノクロ&カラー | シネスコ | 182分

1969年カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞

1973年ジュシー賞(フィンランド)外国語映画賞 他多数

時は15世紀初頭。アンドレイと僧侶は雨の道中、権力を風刺した旅芸人が捕えられるのに遭遇した…。ロシア最高のイコン画家アンドレイ・ルブリョフの生涯を描きながら、当時のロシア社会の真実に迫った意欲作。空中から地上へ自在に動き回るカメラが、ロケ地となった美しい古都ノヴゴロドなどの姿をあまりすくなく捉える。

## 惑星ソラリス

Солярис



1972年 | モノクロ&カラー | シネスコ | 165分

原作:スタニスワフ・レム著『ソラリスの潮のもと』

1972年カンヌ国際映画祭審査員特別賞 他多数

世界SF映画史上に金字塔を打ち立てた作品。海と雲に覆われ、生物が確認されていない惑星ソラリスの海は理性を持つ科学者は考え、海と接触しようとするが失敗。宇宙ステーションは混乱に陥り、地上との交信は途切れる。父子をめぐり葛藤、亡き妻の幻影…極限状態にある人間の心に焦点を当て、哲学的命題を観客に投げかける。 **デジタル・リマスター版**

## 鏡

Зеркало



1975年 | カラー | スタンダード | 110分

タルコフスキーの自伝的要素の濃い作品。過去と現在の交差から(私)の記憶が蘇る。家族の許から去った父。母の戦場の同僚の死。第二次世界大戦、文化大革命、中ソ国境紛争など、激動の世界情勢を通し心象風景が形づくられる。母の場面に流れるのは、タルコフスキー自らが詠む実父アルセニー・タルコフスキーの詩である。

## ストーカー

Сталкер



1979年 | カラー | スタンダード | 163分

原作:ストルガツキー兄弟著『路傍のピクニック』

1980年カンヌ国際映画祭エキメニカル審査員賞

1983年ファンタズポルト映画祭観客審査員賞

隕石でも落ちたのか大地に突然現れた空間には〈願掛けの部屋〉がある…作家と科学者は(ストーカー)と呼ばれる案内人に導かれ、危険なゾーンへと向かった。雨、水、火などを駆使して規制の多い当時のソビエト社会の暗喩と、そこに生きる人々の苦悩と未来への希望を描く。タルコフスキーの名を世界映画史に刻印した作品。

# 6.26(土)~7.9(金)

入場料

一般:1,500円 | 学生・シニア・会員1,200円

高校生800円 | 中学生500円

## ユーロスペース

EUROSPACE

渋谷・文化村前交差点左折

tel 03-3461-0211 | www.eurospace.co.jp



◆タイムテーブルとトークショーはHPをごらんください。